

経営比較分析表（令和4年度決算）

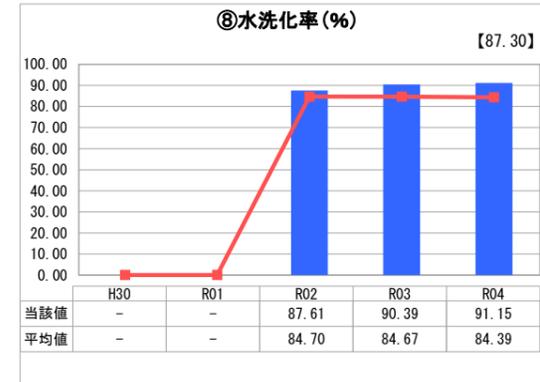
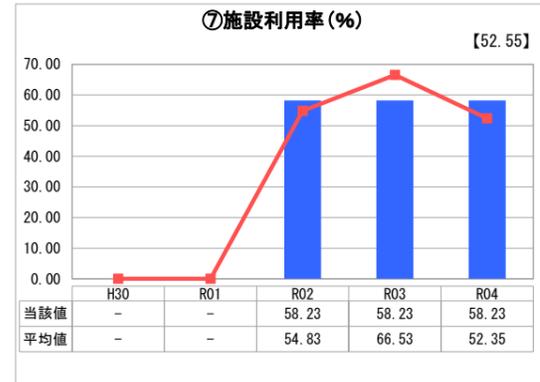
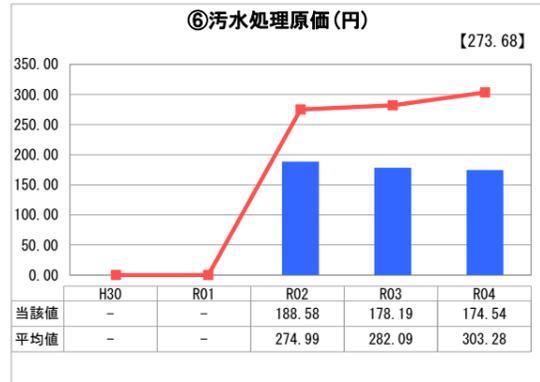
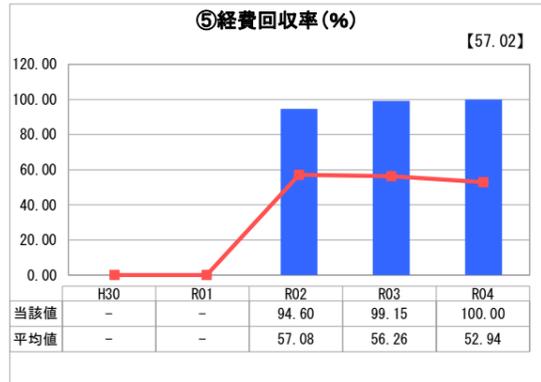
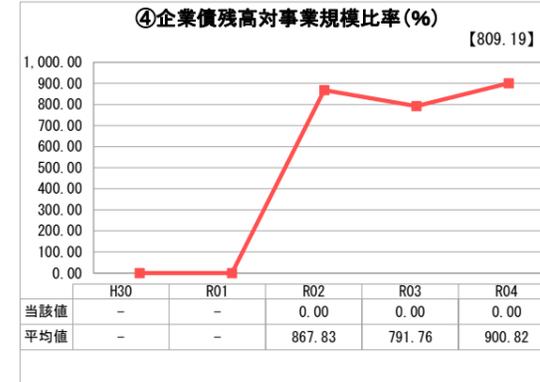
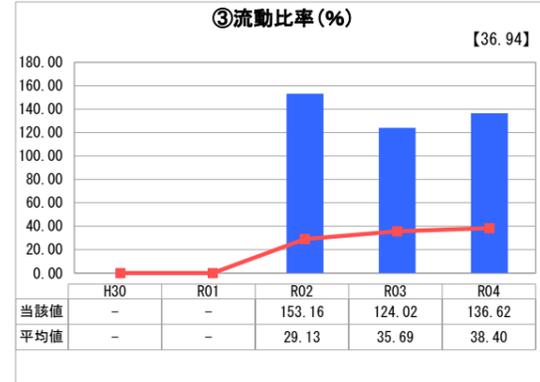
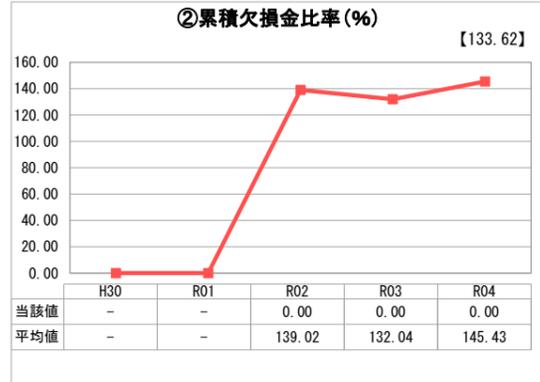
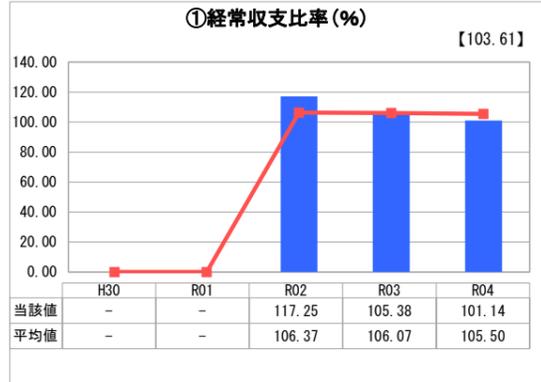
茨城県 潮来市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	83.36	2.96	90.46	3,168

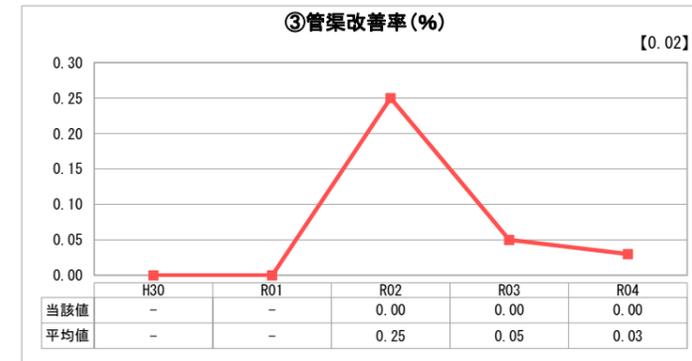
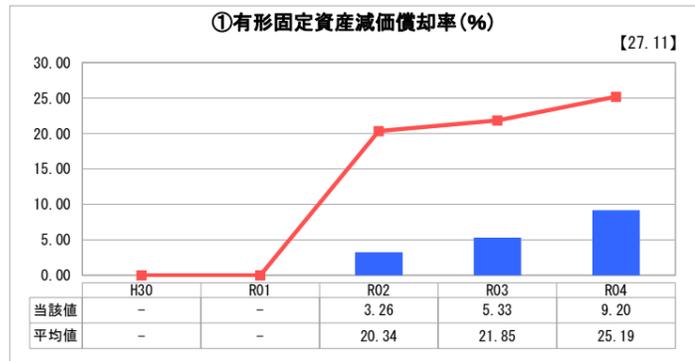
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
26,890	71.40	376.61
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
791	0.55	1,438.18

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

【経常収支比率】
全国平均値及び類似団体平均値とほぼ同水準である。しかし、経常収益は使用料で賄えておらず、一般会計からの繰入金に依存している状況である。そのため、経常的な維持管理費の削減に努めていく必要がある。

【累積欠損比率】
一般会計繰入金に依存しているため0%となっている。

【企業債残高対事業規模比率】
起債の償還については、使用料で賄えていないため、0%となっている。

【経費回収率】
経費回収率は、昨年度より増加し、100%となった。今後も費用の計画的運用に努めていく。

【汚水処理原価】
類似団体と比較して低い水準を保つことができている。一方で今後の維持管理費の増加が考えられるため、費用の抑制に努める必要がある。

【水洗化率】
年々上昇しており、類似団体平均値を上回っている。引き続き接続促進を進め、接続率の向上を図る。

2. 老朽化の状況について

【有形固定資産減価償却率】
令和2年度から令和3年度に実施した処理場の改築工事の影響により、前年度より増加している。数値としては低いが、令和2年度より法適用となったためであり、今後も個々の耐用年数に留意する必要がある。

【管渠老朽化率】
耐用年数を経過した管渠がないため、0%である。しかし、将来的な更新に備え、財源の確保を行う必要がある。

【管渠改善率】
耐用年数を経過した管渠はない。しかし、今後の老朽化対策のため、施設の長寿命化を図りながら、計画的に更新を進めていく必要がある。

全体総括

経常収支比率は100%を超えており、経費回収率も100%であることから、類似団体と比較しても健全な数値が出ている。引き続き、健全な経営に努めていく。

資産となる農業集落排水の処理施設については、令和2年度からの令和3年度にかけて改築工事を実施した。その他の施設については法定耐用年数を迎えるものはないが、今後も点検、調査、修繕等を行い、最適化を図る。

また、区域内の人口減少が著しいことから、使用料については大幅な増加が見込めないが、引き続き接続率向上を図る。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。